



SCU Vision2040とは？

SCU Visionとは、「Shimonoseki City University Vision」の略語です。SCU Vision 2040は、下関市立大学の方向性について、2040年問題*やそれに伴う社会の変化、大学の変化等を鑑み、下関市立大学が2025年から2040年の間に行う目標を設定するために作成されました。下関市立大学は、今後、「**未来社会の創造**」と「**地域社会との共創**」、「**国際社会との共創**」を目指し、世界の名門大学となるべく基盤を作ってまいります。

※2040年問題とは、2040年頃に日本の高齢者人口がピークを迎える一方で、労働力となる現役世代が急減するなど、人口減少と少子高齢化が進行することにより顕著に表面化するさまざまな社会問題の総称です。2040年問題により、労働力不足や社会保障制度の崩壊、医療・福祉サービスが受けにくくなるなど、さまざまな問題が生じると考えられています。また、労働力の不足、生産性の低下、地方の過疎化、世代間格差の拡大など、多岐にわたる問題が懸念されています。

SCU Vision2040が目指す3つの柱



地域が誇れる高等教育機関として、**社会が直面するリスクに対応できる人材、将来の変化を先導する人材を育成することで、希望ある未来社会の創造を推進する。**



地域に根ざした大学として、**地域の未来を開拓、発展させていくための人材の育成、地域社会の様々な主体と連携・協働し、地域課題の解決を目指した研究を推進する。**



下関市の地理的特性や歴史的な遺産を基盤として、**世界で活躍できるグローバル人材の育成、世界の研究機関との連携・協働等を通して世界に通用する研究を推進する。**

SCU Vision2040のVision/Strategy/Action Plan

